

一人一台端末で広がる可能性。 あんなことも、こんなことも。

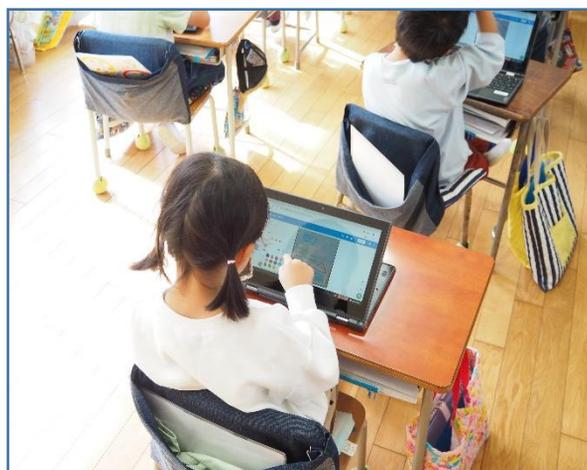


特別支援学級の合同活動：自立活動
特支学級5クラス合同で「豆つかみ」を実施。
4つの教室で分散して行い、各教室を
Google meetでつないだ。



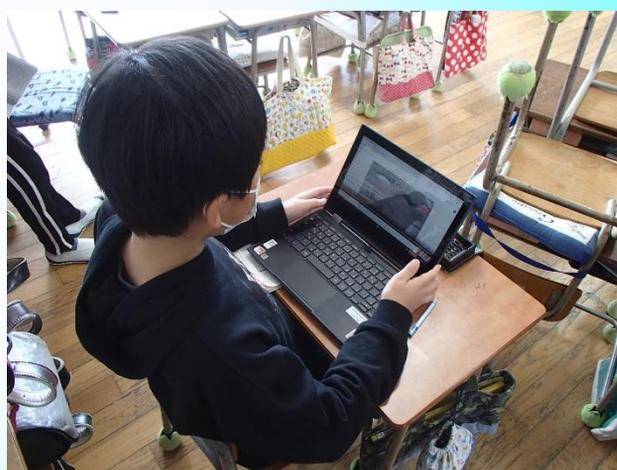
6年生：国語

Google classroomでパンフレットの様式を課題として配付。赤穂の魅力についてタブレットで調べ、パンフレットとしてまとめて提出した。



1年生：算数

スクールタクトを使い、点つなぎをしました。色を変えたり、つなぎ方を工夫して、いろいろな模様を描くことができました。



5年生：理科

まなびポケットのチャンネル機能を利用している。理科の実験の様子を撮影して掲示板にはることで、全員に共有することが出来るようにしている。



2年生：国語

タブレットを使い、音読劇を撮影。お互いの場面を見合い、意見を交流しました。

食品に一番多く含まれる栄養素

<p>主にエネルギーになる</p> <p>炭水化物</p> <p>脂質</p>	<p>主に体をつくる</p> <p>たんぱく質</p> <p>無機質</p>	<p>主に体の調子を整える</p> <p>ビタミン</p>
---	--	-------------------------------

6年生：家庭科

給食の献立を貼り付けておき、児童達が食品のイラストを検索→保存→五大栄養素に分類して表を完成させました。

ゆで卵・ゆでいもを作ろう

5行以上書きましょう

感想

初めてゆで卵を作った、茹で加減も良かったし、みんなとも協力できて大成功だったと思います。また家でも作ってみたいとおもいました。

～振り返り～
 身じたくや準備はきちんとできたか
 ゆで加減はよかったか
 安全に調理できたか
 みんなで協力してできたか
 後片付けはきちんとできたか

場所：家庭科室のコンロの間隙

よごれの写真



よごれの種類

油やカビ

よごれる理由

油が、飛ぶから。

どんな掃除方法がいい？必要なそうじ用具（アイテム）は？

雑巾で、きれいにふきとったり、たわしでみがく。

5年：家庭科

3・4時間目に調理実習をし、給食時に食べました。そのため振り返りは各自、時間のあるときに記入し、提出してもらいました。

6年生：家庭科

校内の汚れを見つけて、写真に撮りました。共有閲覧モードをONにすることで交流を図りました。



クラブ活動：石ころアート

タブレットで「石ころアート」と検索した。それを見ながら石にペイントをしていった。



6年生：学活

Googleformを使って、6年間の学校生活のアンケートを行った。アンケート結果をグラフにすることもできるので、振り返りがしやすいです。

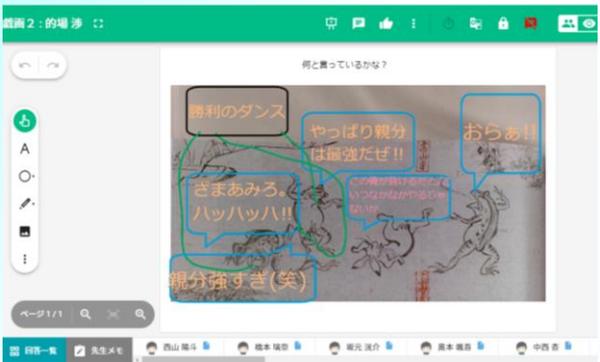


6年生：特活

係活動でタブレットを使っても良いことを知らせ、休み時間に紹介文やポスターを作成する姿がみられた。

6年生：総合

「子ども義士物語」の練習をタブレットで撮影し、共有ドライブに保存することで、自分たちの課題を確認し交流した。



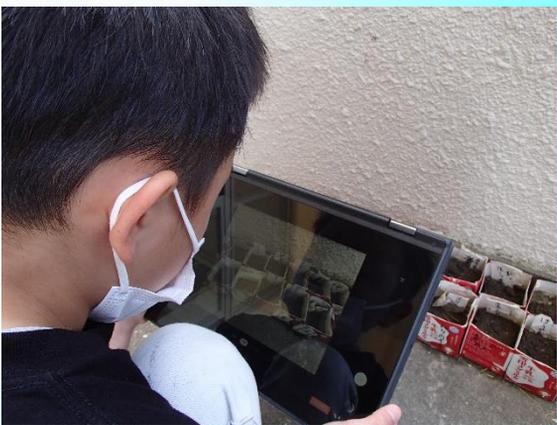
ダンジョンズ&ドリルス プレイガイド

6年生：国語

「鳥獣戯画を読む」の導入で、スクールタクトを活用し自由に吹き出しを付けた。交流をして作品へのイメージを広げることができた。

1年生：算数

たしざんやひきざんのゲームを楽しみながら、計算力を高めることに取り組んだ。どの児童も夢中になって楽しむことができた。
【ダンジョンズ&ドリルス（算数/計算整数）】

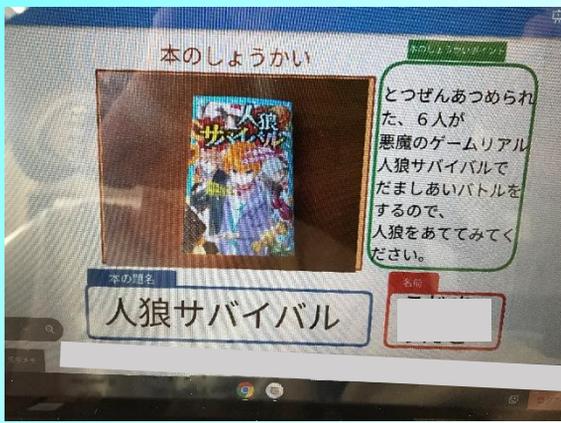


6年生：体育

「ハードル走」の学習で互いの動きを撮影した。自分の動きを自分で確認することで、改善点が見つかった。

3年生：理科

植物観察でタブレットを用いて撮影した。植物の成長をふり返ることができ、細かく観察することができた。



3年生：国語

スクールタクトの枠を使い、自分のお気に入りの本紹介をした。完成後、自分が読みたい本に「いいね」をつけた。



4年生：国語

「伝統工芸品のよさを紹介しよう」の学習で、Googleスライドを用いてリーフレットを作成。「写真をつかえる」「編集が容易」という利点があった。



5学年：算数

児童が自主的にスライドに単元のポイントをまとめて、みんなに紹介した。動画も挿入し、気分はYouTuber!?



<編集後記>

2021年、一人一台端末が導入されてからあっという間の1年。様々な変化の波が、学校の中にも一気に押し寄せました。大人はとまどうことも多々ありましたが、子供達はどこ吹く風。新しいものにすぐに慣れ、触るたびに使いこなしていきました。令和時代を生きる子どもたちのたくましさを感じます。

本通信は計4回の発行を予定しておりましたが、計3回に変更します。3学期が最終号になります。

ICT研究部会